

1-4. 出発前にどのように情報を集めましたか。参考になる本やホームページがあれば、記入してください。

外務省タビレジ

地球の歩き方

各種 web 上で閲覧できる留学経験者の持ち物や文化に関するサイト

1-5. VISA について

出国前に取得の必要なし

VISA の種類：

申請先：

必要日数：

VISA 取得にかかった費用：

VISA 申請のためにどのような書類の提出を求められましたか。どのように準備しましたか。

1-6. 出発前に必要とされた予防接種の種類・回数・費用

指定なし

1-7. その他に必要なだった手続き、方法、料金等

2. 留学先到着後の手続きについて

2-1. 到着時について

利用航空会社：タイ航空

利用旅行会社（航空券の手配をした会社）：直接

留学先大学最寄り空港名：フランクフルト 空港

空港到着時間： am6:00(現地時間) 時頃

空港からの移動手段： 大学手配の出迎え 知人の出迎え 公共交通機関 バス、鉄道

タクシー その他（具体的に）_____

移動の所要時間・料金： 2 時間 30 分、

空港からの移動の際の注意点：

駅が二種類あり、乗る電車の種類によってホームが違うので、確認しておくこと。

2-2. 住居について

住居のタイプ： 大学寮 アパート ホストファミリー その他（具体的に）_____

住居（寮、アパート）の名前：Residence Humboldthöhe

部屋の種類： 一人部屋 二人部屋 その他（具体的に）_____

ルームメイト： 現地学生 留学生（出身国：_____） その他（具体的に）_____

どのように探しましたか。： 大学の斡旋 自分で探した その他（具体的に）_____

大学までの通学時間・手段： 徒歩 10 分、

住居の周りの環境はどうか。：

街には基本的に大学しかないなので、学外の人間との交流が圧倒的に少ない。

スーパーや飲食店はいくつかあるので、普段の生活には困らない。

毎日の食事はどうしていますか。:

自炊と外食

住居は渡航前に、または渡航後すぐにみつかりましたか。トラブルはありませんでしたか。:

特になし

2-3. 留学生向けオリエンテーションについて

オリエンテーションの有無： 有り 無し

参加について： 必須 任意参加

参加費用： 無料 有料（金額： ）

内容について記入してください。

授業登録の仕方や、ビザ申請の仕方、学校施設の案内など

2-4. その他、渡航してから必要な手続きについて

現地で滞在許可書申請は必要ですか。必要な場合、申請方法、料金、取得に係る日数等を記入してください。

Residence Permit

申請先：コブレンツ 外国人局

必要日数：6週間ほど

取得にかかった費用：100ユーロ

申請のための必要書類・準備

パスポートのコピー、資金力証明書、海外保険証書、写真、留学先大学の受入許可書、

全て日本でコピーして持参

四ヶ月以上滞在する場合、電子チップの組み込まれたカードタイプのもを取得する必要があり、その場合、自分で外国人局に行って書類を提出し、手紙を受け取った後にもう一度行って支払いをすませると取得可能。

その他現地でした手続きは？（健康診断、予防接種等）有れば、方法、料金等を記入してください。

3. 語学力向上のためのコースについて

3-1. 語学力の向上のために、大学等のコースに参加しましたか。参加した場合、大学（語学学校）名、コース名、料金、期間等を記入してください。

4. 大学の授業について

4-1. 履修登録について

履修登録の時期： 出発前 到着後

履修登録の方法： On-line International Office 等の仲介 その他（具体的に） _____

登録時に留学生として優先・配慮されることはありましたか。： 無し 有り

優先・配慮があった場合、具体的に教えてください。

希望通りの授業が履修できましたか。： はい いいえ

希望通りの授業が履修できなかった場合、その理由を教えてください。

4-2. 現在までに、履修している授業について記入してください。（協定校の履修登録票がある場合は、代わりにそちらを提出することもできます。）

No.	コース名	教授名	時間数 ／週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習、復習、テスト等についてアドバイスも 含めて教えてください。
1	Entrepreneurship	Prof. Dr. Malte Brettel	3コマ /週	3		<p>授業は、クラス、ビデオ、課題の三つからなる。成績評価は、グループワークと期末試験。グループワークは、各グループビジネスプランを一つ作るというものと、指定されたペーパーについてレポートを作るというもの。ビジネスプランは、毎週お題が設定されて、順を追ってクリアしていく。少なくとも毎週10時間ほどのグループワークが必要になる。自分で意見を言わないと存在価値を否定されるが、レベル感は3年生の初めてのサマーインターンレベルなので、発言できるかにかかっている。リサーチペーパーは、6つあるうち、提出が必要なものは指定された一つだけで、あとは要約を読んでおく。</p> <p>授業は、ゲストトーク、ビジネスプランのプレゼン、リサーチペーパーのレポート、の三部構成で行われる。</p> <p>期末試験は、ゲストトークとリサーチペーパーの内容に加えて、youtube 上にある教授の講義ビデオの内容になる。このビデオを全て見ながら学習するだけで、3日ほどを要する。テストの内容は、かなり細かい数字や、記事の抜粋、理論の説明などが多く、内容を理解して頭で考えるというよりは、一語一句を暗記して大量に解くという形式なので注意。</p>

2	Innovation management	Prof.Dr. Holger Ernst	2コマ/週	3	<p>成績評価は、レポートと期末 50:50。 レポートは、初回の授業以降に決められるグループで、イノベティブな企業を一つ選び、それについて与えられた観点をもとに作っていく。このグループワークに関しては、同じグループの学生に露骨に除外されて、自分以外でグループチャットを作られていたため、あまり参加できていないが、期限は期末テスト期間の少し前なので、時間はたっぷりあるが、求められるリサーチ量も多いので、週1回ほどのミーティングを行う。 テストは、普段の授業でやった内容から出題。上の Entrepreneurship と一緒の日に、二つまとめてテストが行われる。テストの時間は二つ合わせて 3 時間。こちらは、Entrepreneurship のビデオがなんとも同じ内容を往復したり、急に話が飛んだりしていたのに比べ、より理論によった講義になる。毎回の授業で聞き取れなかった部分などは友達に聞いたりする必要があるが、基本的にレジュメの内容丸暗記が必要なテストなので、理解より、暗記にフォーカスすればテストは解ける。</p>
3	Brand management	Prof. Dr. Tim Oliver Brexendorf	2コマ/週	3	<p>成績評価はテスト 100%。 テストは Q2にあるのでまだわからないが、授業は Q1 で終了。 マーケティング周りの基礎を中心に講義は行われた。神戸大学で、マーケティングと流通システムの授業を取っていれば知らない理論や内容は少ないと思うが、例ででてくる企業が、つい最近の企業や、日本人には馴染みのないドイツの中小企業なので、そこらへんと関連付けながら、勉強しようと思う。 基本的に友人の話を総合しても、テストの内容は、大門幾つかを考えて解くというよりは、数多ある小問を一問一答のような形で解いていくものが多いらしい。</p>

5. 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動等、毎日の生活を記入してください。

	月	火	水	木	金	土	日
8:00	英語学習	→	→	→			
9:00	授業	→	→	→	→		
10:00	もしくは						
11:00	ジムと						
12:00	フリー						
13:00	↓						
14:00	↓					ジム	→
15:00	↓						
16:00	↓						
17:00	グループ	→	→	→	→		
18:00	ワークな						
19:00	ど						
20:00				パーティ	パーティ		寮の友人
21:00		パーティ		ー	ー		と一緒に
22:00		ー					ご飯を作る

6. 現在までの感想 自由に記入してください。

着いた当初は、生活の様々な部分で直面する日本との違いに、大なり小なり驚くことが多かったです。時間感覚や、人との接し方、働いている人の様子などの感覚の違いは、あまりに違いすぎてむしろ楽しんでいましたが、食に関しては、今でも日本で食べられるものが恋しくなることがあります。こちらの料理は、調味料が強すぎて、最初の3口程はとても美味しいのですが、だんだんと辛くなってきます。幸い、一人暮らしも長く、キッチンのバイトをしていたので、こっちの食材でできる限りの日本食を週に何度か自炊していますが、食が普段生活に与える影響は計り知れないと思い知らされました。また、日本から持参した昆布と鰹で作った一番出汁や、博多水炊きといったものを、同じ寮の友達にふるまった時の感動のしかたは、今でも忘れません。

僕が通っている WHU は、来る前に聞いていたよりもさらに小さい学校で、街には幾つかのレストランとスーパー、そしてこの大学しかないといった感じで、ご老人と大学生しか見かけないといっても過言ではありません。そのため、生徒間のつながりが強くなりやすく、留学生の友達ともかなり交流が深くなり、期待以上に近い友達が多くできました。ただ、残念ながら現地の学生の8割は GPA しか頭がないので、留学生どころか、現地学生間でも、内輪受けと蹴落としあいがよく見受けられます。そして、こちらに来る前に僕が調べきれなかったことで仕方ないことではありますが、先ほどの学生たちは、親の年収と自分の入試のスコア、そして GPA と就職先ばかりを気にしている学生ばかりで、例えばレストランやバーやクラブで、本当に横柄な態度をとることが多く、バイトをしたこともないので社会経験も全くなく、かなり嫌な気持ちになることが多々あります。これは留学生間でも共通の話題で、そのため、留学生同士で仲良くなっているという現状です。学校側も、なんとか評判を落とさたくないためか、危険に思えるようなパーティーにも我関せず状態で、さらには、スマホの持ち込みや、写真やビデオを撮って SNS にあげることをやめさせようとする有様です。小さい街なので、他の大学や地域の人と交流する機会も少なくなり、いっそう視野が狭くなっているのかなといった感じです。別の大学に留学している友人や、現地の学生で仲良くなった友達の話の総合してみても、この学校は少し異常なかなと感じます。授業の感じは、ディスカッションもレクチャーも同じだけありますが、そこまで神戸大学と違うところはないと思います。ただ、テスト前の生徒の勉強量はすごいものがありました。テストの形式には友人の間でもかなり不満が出ていましたが、いずれにせよ、一週間から二週間以上前には勉強を始め、毎日 7-8 時間勉強していたので、素直に凄いなと思いました。

車でドイツを一周したり、友人といろいろなドイツのイベントに行ったり、はたまた他の国に旅行して、美術館や歴史的建造物を見に行ったりして、自分の好奇心を刺激してくれることがたくさんあるので、とても楽しいです。仲良くなった留学生は、少なくとも 10カ国以上いて、日々の他愛もない会話の中でも、いろいろな発見があり本当に面白いです。やはり実際に来てみなければわからないことも多く、今は本当に留学に来てよかったなと思う気持ちと、残りの留学生活も、さらに様々なことにチャレンジしていこうという気持ちです。

7. 留学経験の共有について

あなた自身の写真や大学キャンパス等の写真があれば、ぜひ報告書に添付して送ってください。（デジタル画像をお願いします。）

7-1. 神戸大学では所属部局教務係及び国際交流課にて、留学を考えている学生等のために報告書を閲覧できるように保管します。あなたは、本報告書を閲覧資料とすることに同意しますか。（あなたの氏名、学籍番号、メールアドレスは公開されません。）

*担当部署（所属部局又は国際交流課）が本報告書の原本を保管します。あなたが閲覧資料にすることに同意しない場合であっても、あなたの近況等を把握するために及び本プログラムを改善するために、学内の関係部署に転送することがあります。

はい

いいえ

7-2. あなたの本報告書の一部を引用して、本学の印刷物やホームページに掲載することに同意しますか。

はい

いいえ

7-3. もし写真を提出する場合、あなたの写真を報告書とともに閲覧資料にすることに同意しますか。

はい

いいえ

7-4. もし写真を提出する場合、あなたの写真を本学の印刷物やホームページに掲載することに同意しますか。

はい

いいえ

ご協力ありがとうございました。本報告書は大変有益な資料となります。
残りの留学生活が楽しく実り多いものであることを神戸大学教職員一同、祈念しています。

本報告書の提出先は以下のとおりです。原則として e-mail で提出してください。

経営学研究科学部・大学院教務係 〒657-8501 神戸市灘区六甲台町 2-1
bkyomu@b.kobe-u.ac.jp